

【今後の取組の方向性】

「陸・海・空」の交通拠点ネットワーク化した交通の要衝としての機能を活かし、観光、農林業、商工業の各分野を成長させ、日本で、世界で稼ぐ産業の創出に取組、事業者と就業場の創出を図っていく。

【基本目標1】 日本で、世界で、稼ぐ産業の創出

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	基本目標の評価	所管課		
1人当たり市民所得	299.8万円 (H24)	1人当たり県民所得を上回る 参考：県319.5万円 (H24)	312.5万円 (H25) <64.4%>	B	【1人当たり市民所得】 ・基準値 (H24) と比較し、12万7千円の増で、平成20年のリーマンショック以前の数値 (H19 310.3万円) となり、着実に目標値に向かっている。 ・静岡県 (332.6万円)、志太橋原中東連 (326.2万円)、藤枝市 (313.3万円)、焼津市 (316.5万円) と比較した場合、いずれも島田市は下回っている。 ・島田市は県内35市町中、上から17番目となっている (藤枝市は15番目、焼津市は16番目)。 【市内総生産額】 ・基準値 (H24) と比較し、7億8千万円の減 (-0.2%) であり、ほぼ横ばいであった。 ・市の主要産業である製造業が前年度比0.1%の増であったのに対し、不動産業-2.63%、建設業-8.16%であった。 ・製造業の停滞は、平成20年のリーマンショック以降続いており、平成19年度と平成25年度を比較すると-253億円 (-20.5%) となっている。静岡県同様、製造業の停滞が市内総生産額の停滞の理由の一つと考えられる。	戦略推進課		
市内総生産額	3,360.65億円 (H24)	3,671.97億円 (H29) ※H20ベースにする	3,352.84億円 (H25) <基準値以下>	D				
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(1) 高速交通網の観点で稼ぐ								
・富士山静岡空港周辺のまちづくり ・新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺のまちづくり ・地域資源を活かした企業誘致 ・交通拠点を活かした周辺基盤整備	新規企業立地件数	6件 H22~H26年度立地実績	5年間で11件	5件 <45.5%>	B	【新規企業立地件数】 ・企業立地の促進を図るため、県内外の企業を訪問するなど積極的なPR活動を実施するとともに、市ホームページにて市内の遊休地や工業用地の優位性等の情報発信を行った。	【新規企業立地件数】 ・H28年度は1社への補助金交付を見込んでおり、今後も引き続きPRを行う。	商工課
(2) まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ								
・SLを活かした観光誘客の促進 ・川根温泉及び田代の郷温泉を核とした観光の推進 ・ニューリズムや歴史・文化資源を活用した新たな観光の推進 ・観光資源の有効活用とロケーション活動支援の充実 ・富士山静岡空港の海外渡航先からの外国人観光客の誘致 ・観光地域づくりと広域観光連携の推進	観光交流客数 (年間)	276万人 (H25)	300万人	236万人 (H26) <基準値以下>	D	【観光交流人口】 ・H27年度は島田大祭や金谷茶まつり等の大型イベントはなかったが、大井川鉄道線の機関車トーマス運行に合わせたおもてなし事業の実施により、大井川流域での観光周遊を促進し、実績値がH25年度を上回った。 ・来訪客が増加している蓬萊橋において、観光パンフレット等での市内観光施設PRを行った。	【観光交流客数 (年間)】 ・国内外からの誘客につながる事業を展開するとともに、空港就航先や首都圏、中京圏における国内キャンペーンを積極的に実施することで交流人口の拡大を目指す。 ・東名高速道路、富士山静岡空港、川根温泉ホテルを活用した観光モデルツアーの企画等、インバウンド効果を狙った事業を展開していく。	観光課
	宿泊者数 (年間)	142,199人 (H25)	148,000人	183,901人 (H26) <100%>	A	【宿泊者数 (年間)】 ・大井川鉄道線の機関車トーマス運行に合わせ、大井川流域観光事業実行委員会によるおもてなし事業により、宿泊事業者と連携してPRを行った。 ・空港就航先への観光PRにより、中国人観光客によるインバウンド効果に繋がった。	【宿泊者数 (年間)】 ・H27年度実績値はH26年度を上回っているものの、H27年度後半から中国人インバウンドが減少傾向にある。今後も引き続き大井川流域を中心に3市1町、中部、志太橋原DMOといった広域連携を加速・深化させ、圏域での滞在時間の延長から宿泊へ繋げる取組を行う。	
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(3) 新たな付加価値による農林業で稼ぐ								
・茶の生産基盤の強化と消費拡大 ・6次産業化とブランド化の推進 ・地域農業の振興と地産地消の推進 ・多様な担い手の確保・育成 ・生産性の高い林業の実現	新規青年就農者数	2人	7人	3人 <20%>	B	【新規青年就農者数】 ・H27年度の新規就農者数は1人おり、それまでの新規青年就農者と合わせ3人となった。3人のうち2人に青年就農給付金の給付をした。	【新規青年就農者数】 ・就農相談の対応の他、認定新規就農者の認定をし、新規青年就農者を増加させる。	農林課
	担い手への農地集積率	38.20%	67%	38.4% <0.7%>	C	【担い手への農地集積率】 ・H27年度の集積割合は認定農業者の増加に合わせやや増加し、集積面積合計は1,258haとなった。 ・認定農業者：H27年度 392人、H26年度 388人、：H25年度 380人	【担い手への農地集積率】 ・引き続き新たな認定農業者の増加を図り、それに伴い集積面積の増加を図っていく。	
	認定農業者数	388人	450人	392人 <6.5%>	C	【認定農業者数】 ・H27年度は、認定農業者の期間満了者が99人おり、そのうち再認定が91人、新規認定が12人で微増となった。	【認定農業者数】 ・認定農業者の再認定の他新規認定者の開拓を行い、更なる増加を図る。	
	森林伐採面積 (年間)	83.4ha	145ha	64.8ha <基準値以下>	D	【森林伐採面積 (年間)】 ・H27年度整備面積内訳として、「しずおか林業再生プロジェクト推進事業」の間伐による整備面積31.32ha、「森林環境保全直接支援事業」の間伐による整備面積33.48haとなった。	【森林伐採面積 (年間)】 ・補助金交付対象の案件となる、経営計画の策定や自立支援を引き続き行っていく。	
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(4) 地域産業の競争力を高めて稼ぐ								
・地域産業の振興 ・商業・サービス産業の活性化 ・企業とのマッチング促進	新規創業者数	***	5年間で20件	4件 <20%>	B	【新規創業者数】 ・市内で新たに創業する者、新産業に進出する者に対して経費の一部を補助するため、補助金を交付した。申請5件中、4件を採択 (新規創業3件、新産業進出1件)。 ・平成17年度は財源を地方創生加速化交付金 (上乗せ交付分) としたため、市としては事業PR期間が、補助を受ける側は開業までの期間が短くなったが、創業補助金に関する需要が高いことが把握できた。	【新規創業者数】 ・創業補助金に対する需要は高いため、継続して実施していくこととし、募集期間を1~2か月とするなど応募者の利便性を高めていく。 ・平成17年度は財源を地方創生加速化交付金 (上乗せ交付分) としたため、市としては事業PR期間が、補助を受ける側は開業までの期間が短くなったが、創業補助金に関する需要が高いことが把握できた。	商工課
	販路開拓支援件数	***	5年間で500件	107件 <21.4%>	B	【販路開拓支援件数】 ・市内中小企業が販路開拓を目的に、展示会等へ出展、開催した費用の一部を補助するため、補助金を交付した。 開催事業成約件数92件、出展事業成約件数15件、計107件	【販路開拓支援件数】 ・産業支援センター開設により、中小企業の販路開拓への相談機能を強化し、販路開拓事業費補助金と併せ、新規販路開拓を支援していく。	
	中心市街地の1日あたり歩行者数	1,992人	2,100人	1,985人/日 <基準値以下>	D	【中心市街地の1日あたり歩行者数】 ・中心市街地において実施された5事業に対し、島田市にぎわい商店街支援事業補助金を交付した。 ・地域交流センター歩歩路を活用した新たなイベント等も開催され、一定の賑わいを創出しているものの、中心市街地全体の賑わいには繋がっていない。	【中心市街地の1日あたり歩行者数】 ・H28年度からは、おび通りを活用した新たな事業展開を図る。	

【基本目標2】 島田市に住み、好きになる

【今後の取組の方向性】
 島田市の個性や魅力を市内外に発信する取組であるシティプロモーション活動を「島田市緑茶化計画」の名のもとに戦略的に推進するとともに、情報発信や、移住体験などを通じて、実際に島田市を体験してもらう機会を創出し、新しい人の流れをつくっていく。

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	基本目標の評価	所管課
社会移動	転出超過 (71人)	均衡	転出超過 (H27.1~12) (63人) <11.3%>	C	【社会移動】 ・転出超過の状態は続いているが、超過人数は年々減少し、着実に目標に向かっていく。 ・H25 (298人)、H26 (71人)、H27 (63人) ・市の移住施策を利用した移住世帯 3世帯6人	戦略推進課
島田市が好きな市民の割合	72.40%	90%	*** *未実施のため	***	【島田市が好きな市民の割合】 *****	

具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(1) 移住・定住の促進								
・定住化の促進	移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数	***	5年間で100件	3件 (7人) <3%>	C	【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数】 ・中山間地域のコミュニティの維持を図るため、特に子育て世代の移住・定住に加え、地域おこし協力隊の派遣を推進して、人口増加、定住促進を図る。また、全庁的な移住・定住専用のホームページの作成及び、県外からの移住・定住者に住宅購入に対する奨励金を交付し、市内全域への移住・定住を促進するため、以下の事業を行った。 ・島田市に住もう応援奨励金 ・県外から市内へ移住してきて、市内に住宅を取得する方を対象に奨励金を交付 実績2件 1,600,000円 ・移住体験モニターツアー 移住希望者に川根地区での生活を体験してもらい、移住の動機付け、きっかけとする目的ツアーを開催 実績0人 (申込者の希望日程が合わなかったため) ・移住相談会への出展 首都圏で開催される「ふるさと回帰フェア」、「3県合同移住相談会」、「ふじのくにに住みかえる移住相談会」などに市のブースを出展し、来場者に市のPRを行うとともに、移住希望者の相談に対応。 出展回数 4回 ・移住・定住ポータルサイトの作成 移住・定住に関連する情報をまとめたポータルサイトの作成に着手 (平成28年度前半に公開予定)	【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数】 ・地域おこし協力隊の協力を得ながら移住・定住ポータルサイトを早期に整備し、情報発信力を強化する。(平成28年6月に公開済み) ・民間不動産業者の管理する物件と市の空き家バンク登録物件を網羅した不動産情報サイトを立ち上げる。(平成28年6月に公開済み) ・NPOまちづくり川根の会と連携し、川根地区の空き家情報の掘り起こしを引き続き進める。 ・首都圏開催の移住相談会に積極的に出展し、潜在的な移住希望者へのPRと、真剣に希望している者への相談対応、情報提供に努める。	地域づくり課

具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(2) シティプロモーションによるまちの魅力創出								
・シティプロモーションの推進	市民幸福感の向上	6.3点	7点	6.4点 <14.3%>	C	【シティプロモーションの推進】 ・全庁的な観点からの情報収集・発信等による都市ブランド化の仕組みづくりや、各産業分野でバランス良く底力を高め、一層の厚みを持たせるための個別地域資源のブランド化の構築に全市一体で取り組むためのメッセージとロゴを製作した。 ・島田市ブランドデザイン策定業務委託 (メッセージとロゴの作成) ・全8回のワークショップ開催し、11月1日に行われた10周年記念式典にてメッセージ・ロゴを発表。ロゴ使用マニュアルを作成し、ロゴ使用申請の受付を開始した。	【シティプロモーションの推進】 (1) 戦略の推進 ・戦略推進のベースづくり、推進体制の構築 ・海外商標登録手続き ・ブランドデザインアドバイザー業務委託 (2) シティセールスの強化 「島田市緑茶化計画」を意識した都市イメージの構築 ・緑茶化プロモーショングッズ製作 ・緑茶化コンセプトブック製作 ・緑茶化製品等テストマーケティング委託 ・緑茶化計画動画作成 (3) 幅広い市民参加を促す仕組みづくり ・島田市緑茶化計画広報用品製作費補助金	広報課

【基本目標3】 希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする

【今後の取組の方向性】

切れ目のない支援により、希望どおり結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境の実現を図るとともに、子どもをまんなかに捉えた視点に立ち、子育てを地域全体で支援する子育てしやすいまちづくりに取り組んでいく。

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	基本目標の評価	所管課		
合計特殊出生率	1.51 (H24)	1.6	*** <県において期間で算出、公表は平成31年度>	***	【合計特殊出生率】 *****	戦略推進課		
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(1) 出逢い、差して、結婚する								
・出逢いの創造 ・出逢いの場づくり	婚姻率 (人口千人当たり)	4.63人	5人	4.11人 <基準値以下>	D	<p>【出逢いの力創造・出逢いの場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚に対する意識付けを独身者に行くと併に、独身者の親等家族を巻き込み、地域全体で結婚に対する支援をおこない、「島田に住んで子どもを育てる」きっかけとするため、以下の事業を実施した。 出逢いのチカラ塾 島田市在住又は在勤の独身男女 (20歳～40歳) に出逢いの機会 (婚活) を有意義なものにするため、「出逢うための力」の講座を実施した。 講座申込者 男性29名、女性25名、計54名 婚活～親だからできるわが子の婚活交流会～ 現代の高齢者の結婚意識など結婚に関するセミナーを実施しながら、親同士で子どもの情報を持ち寄り交流会を実施し、その後、親を通して独身の男女が気軽に会うきっかけづくりを行った。 参加者31組 その後の交流 (マッチング) 12組成立 恋旅・島田巡りと婚活バスツアー 島田市の名所等を通り、見学体験を取り入れたバスツアー。 参加者 男性20名、女性18名 マッチング (カップル) 成立6組 	<p>【出逢いの力創造・出逢いの場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島田市は他市と比較し、第2子の出産割合は高いが、婚姻率が県平均より低くなっている。(婚姻率 島田市: 4.6、県平均5.4、全国平均5.5/人口動態保健所・市町村別等統計 (H20～24)) 少子化対策を推進する中で婚姻につながる婚活事業を実施していくが、独身者に「出会うための力」講座を実施する際、「自分の人生の中で結婚し子どもを育てる」ためのライフプランも加え、独身者が結婚に対して現実的に考える機会をつくり、婚活イベントにつなげていきたい。 平成28年度の事業実績を踏まえ、事業内容の見直しを図る。地域で婚活イベントを実施しているNPO団体等の力を活かした事業を検討・実施していく。 	子育て応援課
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(2) 妊娠、出産する								
・妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保 ・不妊に悩む方への支援 ・妊娠・出産に向けての支援	妊娠11週までの妊婦に妊婦健診の割合	95.80%	98%	95.1% <基準値以下>	D	<p>【妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島田市立看護専門学校の1年生40人に対し、妊娠・出産のための健康づくり事業『「いつか」のために「いまから」できること』を実施した。 社会教育課主催の事業、中学生体験講座「あちゃんふれあいタイム」で出産適期や子育てについての講話を行った。 【不妊に悩む方への支援】 <ul style="list-style-type: none"> 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減し、医療保険適応外の一般不妊治療や特定不妊治療に要する費用の一部について助成を行った。 一般不妊治療申請者 38組、42件 (交付決定42件) 特定不妊治療申請者 97組、169件 (交付決定196件) 【妊娠・出産に向けての支援】 <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時にマイ支援センター登録を促した。 166件 母子保健リソースアセスメント指標を作成し、根拠に基づくケース支援を行った。 	<p>【妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> H28年度は金谷高校に妊娠・出産のための健康づくり事業を実施予定。実施後、生徒にアンケートをとるなどして、今後も引き続き事業を見直ししていく。 社会教育課との協同で、H28年度は中学生体験講座を初倉中学校で実施予定。赤ちゃんとふれあいを体験を通して、妊娠や出産についての知識の普及と、子育ての楽しさや子どもとの愛着形成が伝わるように展開していく。 【不妊に悩む方への支援】 <ul style="list-style-type: none"> 制度について見直しを行いながら、今後も引き続き費用の助成を行う。 【妊娠・出産に向けての支援】 <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター「てくてく」を中心に、妊娠期からの支援やサービスの拡充を図る。 	健康づくり課
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(3) 子どもをまんなかに子育てする								
・子育て施設の整備 ・子育て支援体制の充実 ・妊娠・出産・子育てに対する負担感の軽減 ・親と子どもの健康の確保及び増進 ・地域・社会全体で子育てを支える機運の醸成	<p>保育所等の待機児童数 (4月1日現在)</p> <p>放課後児童クラブの待機児童数</p>	4人 (H26.4.1)	0人	11人 (H27.4.1) <基準値以下>	D	<p>【保育所の待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に子ども子育て支援新制度がスタートし地域型保育事業として3施設が市の認可を受け保育所等の定員が18名増加した。 <p>【放課後児童クラブの待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> H26年度、六合東小学校区第2放課後児童クラブの開所により定員が30人増加した。 放課後児童クラブの対象年齢を小学6年生まで拡大したことや、新規・継続利用希望の割合が上昇したことにより、クラブ申し込み児童数が増加し、一部の放課後児童クラブにおいて待機児童が発生した。 	<p>【保育所の待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新制度がスタートしたことにより保育所等の入所要件が緩和され待機児童数が増加した。少子化により子ども人口は減少していくものの保育需要は高い。今後もこの傾向が続くと推測されるため、新規保育所の施設整備や幼稚園の認定こども園化などにより、受け入れ人数の増に努めていく。 <p>【放課後児童クラブの待機児童数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も利用児童数の増加が予想されることから、受け入れできる体制作りが急務である。このため、平成28年4月川根小学校区放課後児童クラブの新設 (定員20人) のほか、学校内の余裕教室の有効利用、隣接施設の借用等を活用するとともに、保育園等の民間委託を視野に入れた拡大を進める。 	<p>保育支援課</p> <p>子育て応援課</p>
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(4) 豊かな心をもった子どもを育成する								
・個に焦点を当てた授業の推進 ・多様な体験活動の充実 ・子どもたちの成長を支える連携した教育の推進 ・安心・安全な学校づくり	<p>学校が楽しい児童</p> <p>学校が楽しい生徒</p>	89%	95%	91% <33.3%>	B	<p>【個に焦点を当てた授業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個に焦点を当てた授業の具体を示すため、小学校、中学校それぞれ一校ずつ選び、教育方法研究委員によるモデル授業を行った。 【多様な体験活動】 <ul style="list-style-type: none"> 米作りや茶の手もみ体験など、地域に根差した学校独自の体験活動を実施した。 【子どもたちの成長を支える連携した教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインを意識した授業・環境整備について、校内研修等で周知を図り、意識的に取り組んだ。 保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校で、それぞれ円滑な連携が図れるように、研修会や情報交換会を実施した。 【安心・安全な学校づくり】 <ul style="list-style-type: none"> スクールソーシャルワーカーを定期的に学校に訪問させたり、ケース会議に継続的に参加させたりするなど、積極的な生徒指導を行った。 	<p>【個に焦点を当てた授業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の成果と課題を受けて、個に焦点を当てた授業についての構想図を見直ししていく。あわせて、個に焦点を当てた授業の実践を重ねる中で、市内の小中学校に浸透させていく。 【多様な体験活動】 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの夢を育て、地域を愛する豊かな体験活動をより一層推進していくために、「夢育・地育推進事業」を展開していく。 【子どもたちの成長を支える連携した教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> 教育センターの機能の充実を図り、配慮を要する児童生徒について、学校・外部機関・家庭との連携を図れるよう支援体制を整えていく。 【安心・安全な学校づくり】 <ul style="list-style-type: none"> スクールソーシャルワーカーの増員を図り、配慮を要する児童生徒に対して、より一層きめ細かな対応ができるようにしていく。 「島田市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題に組織的かつ、迅速に対応していく。 	<p>学校教育課</p>

【基本目標4】 水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり

【今後の取組の方向性】

市民の健康と命を守るために、医療、介護、介護予防、住まい及び生活支援が包括的に提供できる地域包括ケアを推進するとともに、社会全体で健康づくりのための環境を整えて、健康寿命を促進し、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいく。

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	基本目標の評価	所管課		
島田市の住みごこちが良いと感じる市民の割合	84.60%	90%	84.9% <5.6%>	C	<p>【島田市の住みごこちが良いと感じる市民の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準値と比較し、0.3%の増、進捗率6.6%と、着実に目標に向かっている。 ・内訳は「住みよい」が24.4%、「まあ住みよい」が60.5%であり、「住みよい」が前年度(21.8%)と比較し、2.6%の増となった。 ・一方、「やや住みにくい」、「住みにくい」が14.1%と、前年度(13.5%)と比較し、0.6%の増となった。 	戦略推進課		
具体的な施策	重要業績評価指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (平成27年度末) <達成率>	評価	平成27年度中の取組、成果、要因	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
(1) 健康長寿の促進								
<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進と食育の推進 ・高齢者の健康・生きがいづくりと社会参加の促進 ・スポーツの振興 ・生涯学習の振興 	お通者度 (男性)	県内10位 参考: 17.74年 (H24)	県内1位 参考: 県内1位 19.49年 (H24)	県内11位 17.87年 (H25) <7.4%>	C	<p>【健康の保持増進と食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次島田市健康増進計画及び第2次島田市食育推進計画に基づき、健康の保持増進と生活習慣病の発症予防及び重症化予防、共食の推進を重点に保健事業を実施した。また関連団体等と連携し食育の普及啓発を図った。さらに健康無関心層を取り込み、市民の健康寿命を伸ばすための施策として「健康マイレージ」を実施した。 ・健康づくりセミナー6回132人、健康教育53回1465人、健康相談277回670人、訪問指導54回83人、住民組織の育成68回1427人、離乳食講習12回343人他 <p>【高齢者の健康・生きがいづくりと社会参加の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康活動・教養活動・地域活動を実施している老人クラブ活動を推進するため、島田市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ64団体へ、補助金を交付した。併せて、平成27年度から島田市老人クラブ連合会事務局を「老人福祉センター伊太なごみの里」へ移転し、活動の促進を図った。 ・身体機能の維持・向上を目的にプラザおおるりでシニアトレーニングルーム開放事業を開催した。 ・元気な高齢者の社会参加を促すためのガイドブック「ボランティアガイド」を作成した。 ・地域のボランティアが中心となって運営する「地域ふれあい事業」を55団体で実施した。 	健康づくり課	
	お通者度 (女性)	県内6位 参考: 21.40年 (H24)	県内1位 参考: 県内1位 22.05年 (H24)	県内6位 21.35年 (H25) <基準値以下>	D	<p>【スポーツの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及の為、教室を69回開催し、1,002人の参加があった。 <p>【生涯学習の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習へのきっかけづくりとして魅力ある講座の開催や新たな知識・技術を学び、交流を図るなど地域文化の向上につながる学習の場を提供した。 ・生涯学習活動を行う市民が集まり、発表と交流ができる場を創出した。(公民館まつり等、金谷福大大学卒業発表会、しまだ楽習センターでナビイまつり、フェスタしまだの開催) ・市民の自主的な活動グループの立ち上げを支援した。(公民館等主催講座修了生による自主講座の立ち上げを支援。初倉西部ふれあいセンターを会場にした『高齢者による放課後子ども見守り活動』の支援) 	長寿介護課	
	健康マイレージに取り組んだ人数	329人	2,000人	713人 <23.0%>	B	<p>【高齢者の健康・生きがいづくりと社会参加の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田市老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動を支援し、クラブ数及び会員数の増を図り、健康・生きがいづくり等を促進していく。 ・シニアトレーニングルーム開放事業の実施箇所を拡大するとともに、脳の健康度テスト(ファイブコグ)を活用した認知機能維持の取組(講座)を強化していく。 ・「ボランティアガイド」を様々な場面で利用し、高齢者の社会参加の促進していく。 ・地域ボランティアの協力を得ながら、今後も継続して地域ふれあい事業を実施し、介護予防、認知症予防を推進していく。 	スポーツ振興課	
(2) 地域包括ケアの推進								
<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制の維持 ・島田市民病院における医療体制の充実と新病院建設事業の推進 ・在宅医療の整備 ・包括的なサービス提供のための取組 ・地域で支える仕組みづくり 	居場所づくり事業実施箇所数	10箇所	60箇所	18箇所 <16%>	C	<p>【居場所づくり事業実施箇所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所の周知のため、地区社協や自治会に対して説明を行うとともに、各地区で行っている活動について聞き取り調査を行った。 	長寿介護課	
	地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数	63事業所	164事業所	97事業所 <33.7%>	B	<p>【地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所を戸別訪問し、事業の趣旨を説明するとともに、協力事業所としての登録を依頼した。 ・協力事業所連絡会を年に2回開催し、高齢者の見守りに必要な知識習得のための研修を実施した。 	包括ケア推進課	
	自宅看取り者数(自宅死亡者数(率))	18.80%	20%	17.7% <基準値以下>	D	<p>【自宅看取り者数(自宅死亡者数(率))】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅での看取り者数は、200人(H26 200人)である。 ・多職種からなる島田市在宅医療推進協議会を開催し、必要な協議を行った。 ・リビング・ウィル島田版の配布を開始した。 ・島田市訪問看護ステーションを24時間対応可能な体制へ移行した。 	包括ケア推進課	
(3) 住民生活を支える公共交通基盤の整備								
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通網等の充実 ・民間鉄道による移動手段の確保 	コミュニティバス利用者数(年間)	369,957人	370,000人	379,717人 <100%>	A	<p>【コミュニティバス利用者数(年間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化の進展による通学利用の減少、高齢者の運転免許保有率の高さ及び介護サービス等による移動支援の普及といった様々な要因が重なり、H22年度から減少傾向にあり、H24年度からは各年で増減を繰り返している。 	生活安心課	